

## 会員の広場



### 朝の散歩と「ビジネス展望」

上田 次兵衛（東京）

十年前に第二の職場を辞し気楽な身分になった時、先ず考えたのは、これから先日常生活のリズムをどう維持するかということだった。私の住む多摩ニュータウンは、計画段階から数えると既に50年の歳月を経て、住民は高齢化し、建物も老朽化しているが、木々は

立派に成長し、緑豊かな環境を形成しており、朝夕散歩を楽しむ人の多い街である。そこで私もこれに倣い朝の散歩を始めることにした。時は初夏、朝五時に家を出て、西へ東へ南へ北へと気の向くままに散策を楽しんだが、何か物足りない。そんなある日、隣の住区の公園で、「参加自由、難しい規則なし、会費不要」というラジオ体操会の看板を見付けた。世話役の人の勧めもあつて、次の日から参加することに決めた。

以来10年、朝の散歩とラジオ体操が私の朝の日課となった。朝六時に携帯ラジオ片手に出る。会場の公園までは約2<sup>キ</sup>、太陽に向かつて歩く。6時30分からラジオ体操、43分頃からNHK第一の「ビジネス展望」を聴

く。帰りは時に寄り道をして7時半頃家に帰り着く。約一時間半の歩行で約6千歩。一日8千歩の目標には残り2千歩、楽勝である。

NHK第一は朝五時から八時までの「マイあさラジオ」の時間帯で様々な情報を提供してくれているが、その中で特に有益と思うのは、「ビジネス展望」である。昨年の四月の番組改変で、「社会の見方・私の視点」と番組名が変わったが、オビニオンリーダーと目される識者が、その時々々のテーマを取り上げて意見や提言を述べるコーナーである。昨年三月までは、寺島実郎、内橋克人、金子勝、森永卓郎、田中秀征、浜矩子といった人達が常連だったが、改変後は、斉藤誠、川村雄介、真壁昭夫（更に最近では）伊藤元重、井堀利

宏といった人達が新たに加わった。以前のメンバーはどちらかと言うと時の政府に辛口な意見の持ち主が多かったが、新しく加わった人達は、問題の所在を明らかにして解説を加えるというタイプの人が多い。人数の増えた分、以前のメンバーの意見は薄まったことになるが、それがNHK側の狙いであったかどうかは分からない。私個人としては、朝の爽やかな時間帯に毎度毎度反政府的な意見を聞かされるよりは、多様な意見でリスナーに「考えるヒント」を提供してくれる方が有り難いと思っている。複雑で変化の激しいこの時代にしっかりと自分の意見を持つのは難しい。朝の散歩の習慣がその一助になればと思っている。